

令和5年度 シラバス

| 学年 | 教科  | 教材  |
|----|-----|---|
| 3年 | 技術科 | ・教科書 新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）<br>・副教材 技術・家庭ノート 技術分野（新学社） |

1. 学習の目標

- ・ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。
- ・技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め，技術を適切に評価し活用する能力と態度を身につける。

2. 学習の方法

- ・自分の生活や身の回りのことに関心を持つ
- ・家庭ノートやワークシートを用い学習内容を整理しよう。
- ・学習を通して、生活に役立つ基礎的・基本的な技能を身につけよう。
- ・学習したことを自分の生活に当てはめ、より良くする方法を考えよう。また学んだことを実践しよう。

3. 評価の観点と評価方法

| 評価の観点         | 評価の方法                                  |
|---------------|--|
| 知識・技能         | 提出物（ワークシート・ファイル・技術ノート）・定期考査・実技テスト      |
| 思考・判断・表現      | 実習・作品・レポート・ワークシート                      |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 授業への取り組み（作品・実技テスト・定期テスト）・提出物（ワークシートなど） |

4. 年間指導計画

| 月                | 単元・題材名                     | 主な学習内容  | 学習のねらい   |
|------------------|----------------------------|---|--|
| 4<br>5<br>6<br>7 | コンピュータと情報通信ネットワーク          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの仕組み</li> <li>・デジタル化について</li> <li>・データ量について</li> <li>・情報通信ネットワークの仕組み</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの構成や機能についてわかる</li> <li>・デジタル情報とアナログ情報の違い、デジタルでの表し方がわかる</li> <li>・デジタルで表したときのデータ量についてわかる</li> <li>・世界をつなぐ情報通信ネットワークの仕組み、情報を伝達するための仕組みがわかる</li> <li>・Googleスライドを用いて情報を伝えるための作品を製作することができる</li> </ul>             |
| 9<br>10<br>11    | 情報の技術<br>コンピュータと情報通信ネットワーク | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ技術</li> <li>・情報の安全利用</li> <li>・知的財産権</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークを安全に使うための情報セキュリティの方法、ソフトウェア、バックアップの方法がわかる</li> <li>・情報モラルについてわかり、情報社会で安全、安心して活動することができる</li> <li>・知的財産について理解し、自分の権利を守り、他者の権利を侵すことが無い様に見える</li> <li>・Googleの機能を用いて共同制作を行い、グループで一つの作品を作り上げることができる</li> </ul> |

|                             |                            |   |  |
|-----------------------------|----------------------------|---|--|
| <p>12<br/>1<br/>2<br/>3</p> | <p>・プログラムによる<br/>計測・制御</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動化の技術</li> <li>・計測・制御の仕組み</li> <li>・プログラムの役割</li> <li>・プログラムの作成</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りで自動的に動く製品と情報のつながりがわかる</li> <li>・計測・制御システムやセンサの働きがわかる</li> <li>・プログラムがどのようなものか、プログラム言語で書かれていることがわかる</li> <li>・スクラッチでプログラムを作成し、ロボットを動かすことができる</li> </ul> |
|-----------------------------|----------------------------|---|--|